



# JFVSS Newsletter

## 知識と経験

コロラドにも夏が到来して非常に気持ちいい季節になりました。庭の花たちもすくすく育ってくれています。日本のように蒸し暑くないので、我が家の猫も快適そうにコロコロ転がっています。

先日自分の診てきた症例の整理をしていたのですが、さすがに1年経つといろいろな経験させてもらったな～という感じです。内科は神経、循環器、腫瘍以外の症例を全部カバーしないといけませんし、そもそも心臓病でも腫瘍でも診断は内科でつけるということも多々あります。そんなに幅広い病気を全部診れるんかい！？って思っていました、症例を振り返ってみると不思議なもので一通りバランスよく診察してきた印象です。日本との大きな病気の違いはやはり感染症ですね。幸いコロラドはアメリカの中では感染症は少ない地域ですがエールリヒア、レプトスピラ、ライム、ヘパトゾーン、コクシジオイデスなど一通り経験させてもらいました。旅行歴、ワクチン歴、ダニ予防、飼育環境などを確かめることへの意識は日本にいたときよりもやはり高くなります。今まで感染症に対する意識がそれほど高くなかったのですが、日本の感染症事情にも非常に興味が出てきて研究していきたい分野の一つになりました。日本でも不明熱で行き詰まることってよくありますし、実は感染症ってパターンもあるんじゃないかなって。あと話は変わりますが、猫の甲状腺機能亢進症のヨウ素131治療は経験するともう戻れないですね。内科医が治癒させることができる数少ない病気の一つですし、にゃんこファンとしてはなんとか日本でも出来るようになればいいなと思っています。

やはり勉強してしっかり知識をつけた上に経験が加わると臨床医としての力は確実にアップします。このような環境であと3年臨床できるのは大変有り難いです。

佐藤 雅彦

